



2022年5月17日
東日本旅客鉄道株式会社

今後の新幹線試験車両 ALFA-X 走行試験について

- JR 東日本では、グループ経営ビジョン「変革 2027」における「次世代新幹線開発」を、「さらなる安全性・安定性の追求」、「快適性の向上」、「環境性能の向上」、「メンテナンスの革新」の4つのコンセプトで進めています。
- 2022 年度以降、ALFA-X において、主に営業列車の走行する時間帯で開発品の耐久性の確認等を目的とした走行試験を行います。

1. 2022 年度以降の走行試験の概要



(1) 走行試験の目的

2019年5月から2022年3月までの走行試験において、安全性・安定性や快適性、環境性能、メンテナンス性の向上を目的とした各開発品の性能を確認してきました。今後は、地震対策をはじめとした、各種開発品の耐久性確認のほか、車内におけるお客さまサービスの研究開発、将来の自動運転を実現するための基礎的な研究開発等を目的とし、走行試験を実施します。

(2) 走行試験の概要

2022 年度からは、主に営業列車が走行している時間帯で走行試験を行います。走行区間は主に東北新幹線 仙台～新青森間とし、試験内容によりその他の区間を走行する場合があります。

※営業時間帯における走行は、沿線騒音が現状より悪化しないように配慮した速度とします。

※当面の間は、最高速度を営業列車と同じ速度とします。

2. これまでの走行実績について（2019年5月～2022年3月）

【走行試験日数】計 182 日 【走行距離】約 14.5 万キロ

（参考）E956 形式、愛称:ALFA-X とは次世代新幹線の開発を進めるための試験プラットフォームとして、2019年5月に落成した新幹線の試験車両です。

『**A**dvanced **L**abs for **F**rontline **A**ctivity in rail **eX**perimentation』

“最先端の実験を行うための先進的な試験室（車）”

